


WallFlex™ Duodenal Soft

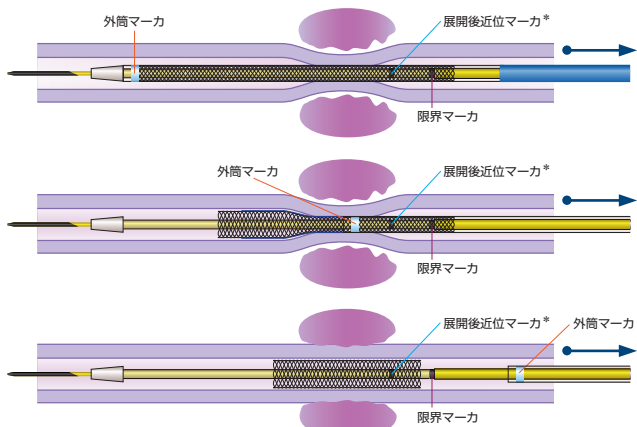
ウォールフレックス 十二指腸用ステント ソフト

デリバリーカテーテル

*「展開後近位マーカ」は、ステントが展開したときのステントのプロキシマル端のおおよその位置を示す目安です。



ステント展開



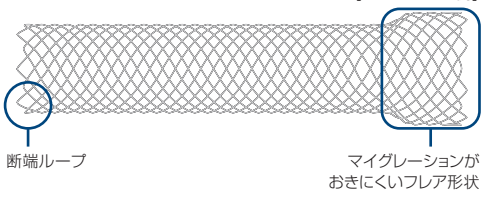
展開後ステント形状

【ディスタル側】

断端ループ

【プロキシマル側】

マイグレーションがおきにくいフレア形状



ステントの再収納は2回まで可能です。
外筒マーカが限界マーカを越え
るとステントの再収納は行え
ません。

ウォールフレックス 十二指腸用ステント ソフト

カタログ 番 号	ステント			デリバリーシステム		適合ガイドワイヤ 最大(inches)
	フレア部外径 (mm)	ボディ部外径 (mm)	ステント長 (mm)	外径(F)	有効長 (cm)	
5580	23	18	60	9.0	230	0.035
5581	23	18	90	9.0	230	0.035
5582	23	18	120	9.0	230	0.035
5583	25	20	60	9.0	230	0.035
5584	25	20	90	9.0	230	0.035
5585	25	20	120	9.0	230	0.035
5586	27	22	60	9.0	230	0.035
5587	27	22	90	9.0	230	0.035
5588	27	22	120	9.0	230	0.035

※径表示換算目安：1mm=3French=0.0394inches

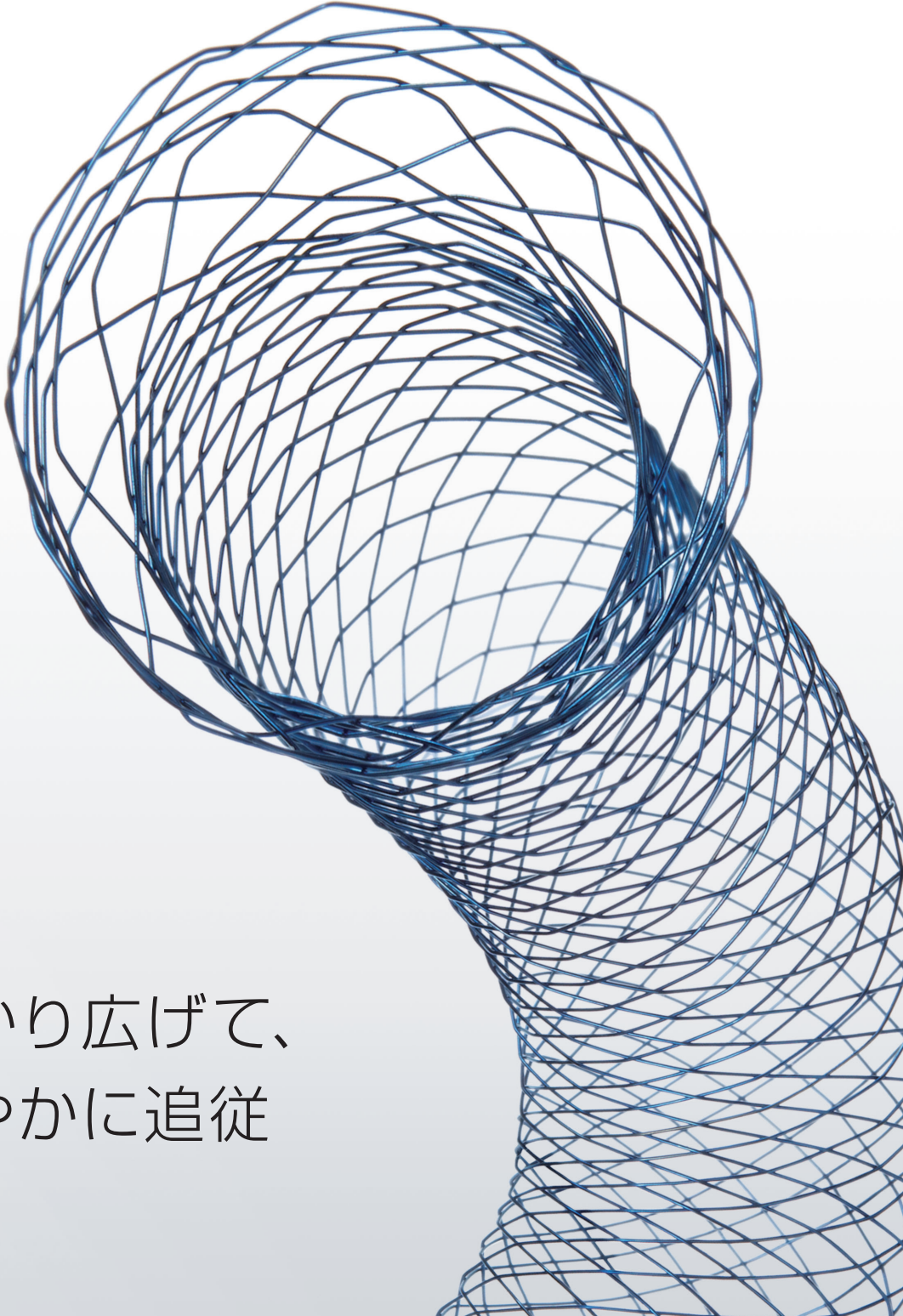
販売名：ウォールフレックス 十二指腸用ステント ソフト
医療機器承認番号:22900BZX00029000

製品の詳細に関しては添付文書等でご確認いただくか、弊社営業担当へご確認ください。
© 2025 Boston Scientific Corporation or its affiliates. All rights reserved.
All trademarks are the property of their respective owners.



WallFlex™ Duodenal Soft

ウォールフレックス 十二指腸用ステント ソフト



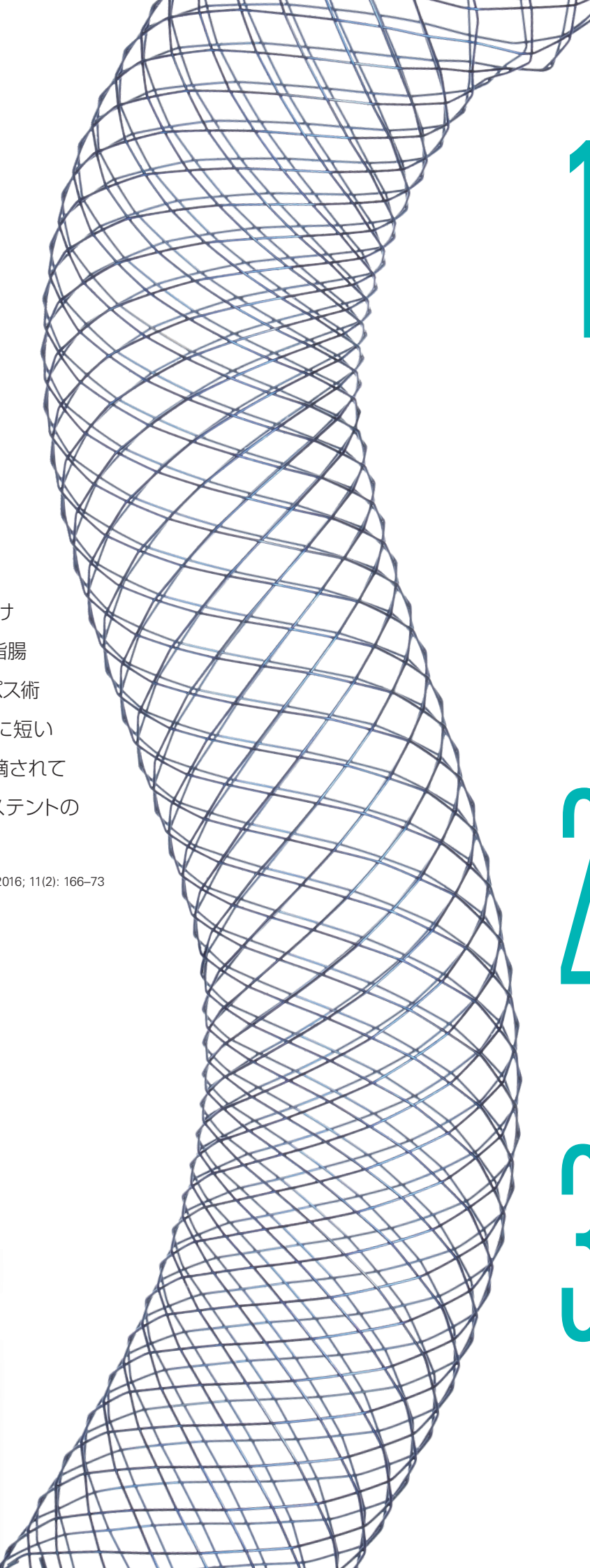
しっかり広げて、
しなやかに追従

患者さんの苦痛を和らげ、
実りある生活を送っていただくために。

WallFlex™ Duodenal Soft は 3つの特長でステント治療の 質の向上を目指します。

胃十二指腸ステント留置術は、経内視鏡的な低侵襲治療で症状を改善するだけでなく、経口摂取をすみやかに再開できる治療法として、手術不能悪性十二指腸閉塞患者のQOL向上に大きく寄与します。また、ステント治療は胃空腸バイパス術と比べ、症状緩和（食事再開）までの期間および在院日数のいずれも有意に短いという報告もあります*。ステント治療のメリットを活かし、また従来から指摘されてきたステントの課題を克服するために、ボストン・サイエンティフィックはステントのパフォーマンスに貢献できる十二指腸用ステントを開発しました。

* Palliat Care Res 2016; 11(2): 166-73

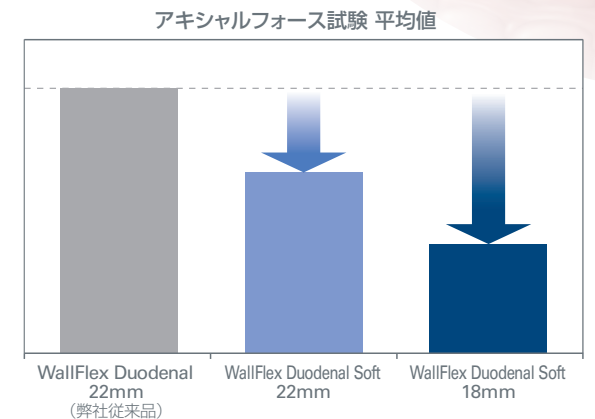


1 デザインはそのままに柔軟性を大幅に向上

- WallFlexブランドで定評のある高い拡張力を発揮する「ブレイデッド（編み込み）」デザインはそのままに、ステントのワイヤを従来品比で約20%細くしました。柔軟性が30~60%向上しています。
- アキシアルフォースが低減されたため、留置後の消化管に対するストレスの軽減を目指します。

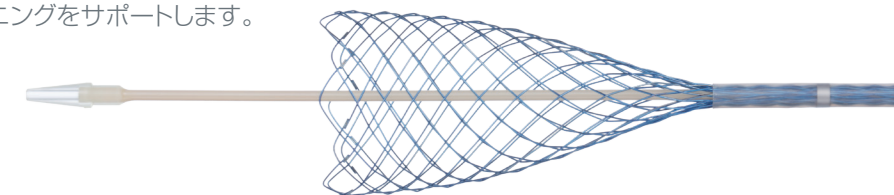


写真提供：前谷 容 先生
東邦大学医療センター大橋病院 消化器内科



2 術者のストレスフリーな細径デリバリーシステム

- 9Frのデリバリーシステムは、鉗子口内の摩擦抵抗が少ないため、ステントリリースをストレス無くスムーズに行えます。
- 再収納機能との併用で、様々な症例で術者が意図する正確なステントのポジショニングをサポートします。



3 選べるサイズラインナップ

- 18mm / 20mm / 22mmの3つのステント径に対し、6cm / 9cm / 12cmの3つのステント長をそれぞれラインナップ。患者さんの病態や体格に合わせて最適なステントを選択いただけます。

